

# 新製品紹介

～新型振動ローラ SW654 シリーズ～



酒井重工業は、このたび振動ローラ SW652-1 シリーズをマイナーチェンジし、新たに SW654 シリーズとして全国販売いたします。

新型振動タンデムローラ SW654 シリーズは、道路運送車両の保安基準平成 26 年排ガス規制およびオフロード法 2014 年基準に適応し、従来と変わらぬ施工品質・安全性を持ち合わせると共に、施工環境・利便性・メンテナンス性を向上させたユーザ様ならびに街行くすべての人に優しいローラとして進化いたしました。

**第 104 号**

発行所 酒井重工業株式会社  
 住所 東京都港区芝大門 1-4-8  
 電話 03-3434-3401  
 FAX 03-3434-3419  
 発行人 水内 健一

## 1) 施工環境の向上

新型エンジンは、最新の排ガス規制に適応しております。また、ECO (エコ) モード時にはフルスロットル時と比較して燃費が最大 37% 向上し、低騒音基準値より 8dB 低い騒音値となるため、住宅街、学校、病院および夜間の施工においても周辺環境への騒音の影響を極力抑えることができます。



## 2) メンテナンス性の向上

新型機よりエアクリーナを地上からのメンテナンスが可能な位置に配置しました。従来から継承されている散水装置のバックアップシステムおよび間欠散水システムに加え、「サビの発生しない散水噴霧システム」を採用し、目詰まりなど故障の低減を図りました。また、従来機と同様に RCD 工法に最適なウレタンロールをオプションとして設定 (SW654ND のみ) しており、あらゆるニーズにお応えします。



## 3) 利便性の向上

「アクセサリースOCKET (12V)」「バックブザーオフスイッチ」が標準装備されました。電源の取り出し (12V/120W) が容易になることや、夜間工事や住宅地での施工において、住環境への配慮が可能になります。



今後ともサカイの締固め機械にご期待ください。

表:概略仕様

項目		単位	従来機 (SW652-1/SW652B-1/SW652ND-1)	仕様	新型機 (SW654/SW654B/SW654ND)	仕様
質量	運転質量	kg	7,100/8,000/7,400		7,100/8,000/7,400	
寸法	全長×全幅×全高	mm	4,300×1,615×2,795		4,300×1,615×2,795	
振動性能	起振力 [L/H]	kN	[62/69] / [61/67] / [通常68/水平124]		[62/69] / [61/67] / [通常68/水平124]	
機関	メーカ/型式	-	KUBOTA V3307-DI-T-KDN		KUBOTA V3307-CR-T-YDN	
	定格出力	kW/min <sup>-1</sup>	54.6/2,200		54.6/2,200	
	排ガス規制対応	-	オフロード法 2006年規制		オフロード法 2014年規制	
タンク容量	燃料タンク	L	120		120	
	散水タンク	L	300×2		300×2	
その他	ECOモード	-	無し		有り	

## 関連会社紹介

### ●酒井機工株式会社

酒井機工は、散水車の製造・販売を始めて今年で25年になります。散水車は、散水ポンプを回して水を前方・後方と走行しながら散水できる機械です。散水ポンプを回す動力方法は大きく2つに分けられ、トラックの動力を分けてもらって回すPTO駆動式、トラックとは別にエンジンを設けて回す外部エンジン駆動式があります。



散水車 ST4E 外部エンジン駆動式

弊社も今まで様々な機種を製造・販売していましたが、改良を重ね現在は3機種に絞って販売しております。PTO駆動式のST4MB、ST4MB-1、外部エンジン駆動式のST4E以上3機種ですがコンパクトな操作設計となっております。

今回は、現在年間100台以上を販売しています人気機種ST4Eを紹介いたします。

ST4Eの特長は、今までの外部エンジン式散水車よりも散水ポンプを大きくしたことで散水能力が向上し、シンプルな配管構造とレバー操作部分を減らしたことでより使い易くなりました。歩道側にレバーを3か所集約させ、冬場の水抜きも簡単です。運転席内より外部エンジンの始動、散水機能の強弱切り替えが可能です。燃料はトラックと共有しており給油は不要です。北海道・東北を中心に現在は全国的に販売台数を増やしております。

### ●株式会社コモド

コモドは、酒井重工業の工事部門として発足し、近年増え続ける維持・補修工事に対応するため、現在はサカイのグループ企業として、道路建設機械を使用した路面切削工事、路盤・路床改良工事、路面清掃工事を行っております。北関東を主な営業エリアとしております。道路工事を通じて地域の皆様のお役に立てるようこれからも営業してまいります。

保有機械：ロードカッター、ロードスタビライザ、排水性機能回復車、スィーパー等

一昨年事務所を移転しました。

新事務所 〒349-1125

埼玉県久喜市高柳 2626

TEL:0480-52-6612



作業機操作



施工風景

## GS レポート ～ディーラー向けサービストレーニング～

インドネシアの首都ジャカルタから車で東に1時間程走ると東ジャカルタ工業団地(EJIP)に着きます。その中に P.T. SAKAI INDONESIA と P.T. SAKAI ROAD MACHINERY INDONESIA の2社があり道路建設機械の製造、販売、輸出入を行っています。インドネシア市場には多くの新車が納入されています。その様な状況の中、サービス体制強化の一環として約2年ぶりとなるインドネシア国内ディーラー向けサービストレーニングを開催しました。

2016年1月25～28日の間に P.T. SAKAI ROAD MACHINERY INDONESIA で講習を行いました。参加者は、インドネシア国内代理店2社のサービス担当者22名で、ほとんどの方が若手エンジニアでした。

講習内容(対象機種：土工用ローラ、タイヤローラ)

<座学>

- ・基本的な説明
- ・点検の方法および点検箇所

<実習>

- ・走行モーターとポンプの分解・組立
- ・実機での点検箇所の確認
- ・油圧測定の方法
- ・LEDインジケータの見方

短い時間での講習でしたが、参加したエンジニアはメモや写真を撮り、皆熱心に受講され、質問や改善の要望も頂き貴重な意見交換ができました。

サカイは100ヶ国以上の国と地域に製品を販売しており、海外市場においてサービス体制の強化は重要です。これからもユーザー様のご要望にお応えしていきます。

最後になりましたが、現地で食べたヤギのサテ(串焼き)、ヤギのスープ、ナシゴレン(炒飯)、ミーゴレン(焼きそば)は独特の癖もなく、日本人にも合う素朴な味付けでとても美味しかったです。



座学



実習



実機での点検確認



インドネシア料理



## 世界の道路事情 ～東アフリカ地区～

多くの人はアフリカについて、広大な砂漠地帯やサバンナが広がり、象やライオン、キリンなどの野生動物がいて、とにかく「酷暑」というイメージをお持ちだと思います。

野生動物は、国立公園で保護されており、車の窓越しではありますが間近に感じることができます。

実際のアフリカは南北 8,000km、東西 7,400km の国土に 56 の国があり、10 億の人々が住んでいます。現在サカイが活動しているエチオピア、ケニヤ、タンザニア、モザンビーク、ウガンダといった東アフリカ地域は緑にあふれ、アフリカ大地溝帯と呼ばれる人類の起源を引き起こしたとされる、長さ数千キロにわたる谷があり、自然の息吹を感じるところです。

アフリカの幹線道路整備はだいたい終わっておりますが、それ以外は未整備のままで、地方に行くには4WD車が必要です。ましてや高速道路においては整備が必要なところが多く、舗装率は未だ一桁台の国もあり、おそらく日本の50年前と同じです。港を持っている国はまだしも内陸にある国々にとって、道路は物資輸送の生命線であり整備が急務です。

これまでは、土工用振動ローラ 10~15 t、舗装用振動ローラ 10~13 t がメインの市場でしたが、近年道路維持用機械のロードカッタ、ロードスタビライザの需要も出てきています。

サカイは2008年のリーマンショック以降急激な円高の影響で、この地区への販売が難しくなりましたが、現在その回復のために積極的な活動を行っています。今後もアフリカのインフラ整備に当社製品が寄与いたします。



草を食むキリンと道路わきで昼寝するライオン



未舗装道路



息の長いモデルであった  
SV91（昭和60年前後）



TV40（昭和50年代中期）が現役！